

「山梨市地域福祉計画(案)」・「山梨市重層的支援体制整備事業実施計画(案)」へのパブリックコメント募集結果について

令和5年12月25日(月)～令和6年1月19日(金)までの間、「山梨市地域福祉計画(案)」・「山梨市重層的支援体制整備事業実施計画(案)」について、市民の皆様からのご意見を募集しました。いただいたご意見の概要と、市の考え方をご報告いたします。貴重なご意見ありがとうございました。

募集結果

意見数:1件

意見(地域福祉計画に関する内容)

「地域づくりに向けた支援」の中で出てくる「地域のプラットフォーム」とはどのようなものか。

避難行動要支援者名簿への登録制度「知らない」と答えた人が過半数を越えていると書いてあるが、もっと知ってもらえるように具体的に何をしたら良いのか教えてください。

回答

「プラットフォーム」とは、基盤・基礎・土台という意味の他に、「みんなが乗る舞台」という意味があります。地域にある福祉の課題を共有したり、協議する場をプラットフォームと表現し、「地域のプラットフォームの促進」とは、地域の中で福祉の話題を考える場を広げていきたいという思いが込められています。

避難行動要支援者名簿は、災害時に自ら避難することが困難と思われる方で、避難等の支援を必要とする方々をあらかじめ登録しておく名簿のことをいい、災害時には、安否確認や避難支援に活用されます。市では、要介護認定を受けている方や、障害者手帳を所持している方など、登録基準に該当する方をこの名簿に登載し、同意がある方については、民生委員・児童委員や各自主防災組織(行政区)などの避難支援等関係者に名簿を事前提供しています。この制度の目的や仕組みが地域において理解され、災害時の避難行動が円滑に行われるよう、日頃から地域の防災訓練等で名簿を活用した安否確認訓練を行うなど、様々な機会において理解を広めていくことが重要です。

尚、いただいたご意見をもとに、地域福祉計画の改定においては、9ページ下部に「プラットフォームとは」の注釈を加える予定です。

プラットフォームとは

基盤・基礎・土台という意味の他に、「みんなが乗る舞台」という意味があります。地域にある福祉の課題を共有や協議する場を「プラットフォーム」と表現します。